

債権法改正を深める ——民法の基礎理論の深化のために

森田宏樹
2013年8月刊/454頁/4000円



編集
担当者
から

本書は、法学教室で2010年4月号から2012年3月号まで掲載された連載に、連載終了後に公表された「民法（債権関係）の改正に関する中間試案」との対応を付記してまとめたものです。新装版へのリニューアルと同時の新連載で、とても印象に残るものです。

債権法改正の議論が活発になった当初、「今のままで特に問題はないのに、なぜ改正が必要なのか」という声をよく聞くと同時に、議論の動向を注視する雰囲気も強く感じられました。そのような状況の中で、著者なりの視角から「そもそも、何が問題なのか」「これまで、しっかりと検討されてこなかった問題は何か」といった根本部分について検討を行い、それらに対する理解や議論を深めることを目指した連載でした。まさに本書の「はしがき」にある、著者の恩師・星野英一先生が説かれた「より広く、深く、遠くから」検討するという研究者の姿勢が貫かれています。

非常に高度で読み応えのある内容ですが、どうぞ本書で多角的な理解を深めてください。（五島）

Book Information について

このコーナーは、有斐閣から刊行された本について、編集担当者から読者の皆様に、その本の企画意図や工夫したポイント、どのような方に読んでもらいたいのか、読み方・使い方などを紹介するものです。

レイアウトに工夫をして見やすく読みやすいものにした本は実際の紙面を、類書とは違う項目立てなどにこだわった本は目次情報などを示すことにしました。

また、レベル・ジャンル・読者対象については、一目で分かるように以下のようなアイコンで表示します。

- ◆ レベル
- ◆ ジャンル
- ◆ 読者対象

小社ホームページの該当書の紹介箇所でも見られるようにしますので、どうぞ活用ください。